

# 特集 多久市の行政改革への取り組み

## 第8次行政改革を推進中

市では、新たな財源の確保に向けた取り組み等を計画的に推進し、安定的で持続可能な自治体運営を目指して、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間とする『第8次多久市行政改革大綱』を策定し、行政改革に取り組んでいます。  
今回は、平成23年度の取り組みの状況についてお知らせします。

### \*基本方針

第8次行政改革は、平成22年度から平成26年度まで、「ヒト」、「モノ」、「しくみ」、「財源」、「情報」の4つの経営資源に対する9つの重点課題を設定し、71項目の取り組みを進めています。これらの経営資源の見直しと再発掘、効果的な活用を検討し、行政サービスの向上を目指します。

### \*平成23年度の取り組み状況

第8次行政改革大綱実施計画に挙げた71項目について点検・評価しました。その結果、「実施したもの(A)」が19項目(26・8%)、「一部実施しており、引き続き検討するもの(B)」が28項目(39・4%)、「引き続き検討を行うもの(C)」・次年度以降の取り組みであるもの(D)」が24項目(33・8%)となりました。  
削減できた経費は平成22・23年度で8千289万円となりました。

平成23年度に取り組んだ主な項目は次のとおりです。

#### 1「ヒト」の力の向上



##### ①人材育成

##### 政策形成能力の向上

階層別の研修や政策課題、政策法務研修に職員を派遣し、政策形成能力の向上を図りました。

##### ②市民協働の推進

##### まちづくり基本条例(仮称)の制定

平成23年11月から(仮称)多久市まちづくり基本条例策定市民会議を開き、多久市の現状と課題について議論し、3月には市民会議の中間報告や意見交換等を行いました。



▲まちづくり基本条例策定市民会議

#### 2「モノ・しくみ」の充実



##### ③行政運営の充実

##### 交通体系の見直し

地域の公共交通の確保維持に係る計画を策定するために必要なデータ収集・分析等の調査事業を、平成24年度に実施することに決定しました。

##### 市議会の活性化の促進

平成23年3月に制定された、議会基本条例に基づき10月に議会報告会が実施されました。今後は年2回実施の予定です。



▲議会報告会

##### 監査制度の充実

行政運営の透明化を図るため、平成23年度定期監査結果をホームページに公表しました。

##### ④事務事業評価と経営資源配分の最適化

##### 予算編成システムの構築

平成24年度当初予算編成から課に対する枠配分方式に変更しました。また、配分枠の算定にあたっては、経常経費の1%(1千207万7千円)削減を行いました。

##### ⑤指定管理者制度の導入、外郭団体の改革推進

##### 外郭団体の経営健全化

法の改正に伴い、外郭団体の今後のあり方について協議・検討を行い、孔子の里は公益財団法人へ、体育協会と給食センターは一般財団法人へ移行することを決定しました。